

## 令和3年度第2回 青森県地方独立行政法人評価委員会 議事録

日時：令和3年8月27日（金）

14時00分～15時20分

場所：青森県庁議会棟6階

第1委員会室

[事務局]これより令和3年度第2回青森県独立行政法人評価委員会を開催致します。

本日は、全委員に御出席いただいておりますので、会議が成立いたしますことを御報告申し上げます。本日は公立大学法人青森県立保健大学の「令和2年度業務実績評価」について審議していただきます。本日の審議資料は、資料1、参考資料1、2、3ですが、不足等ございませんでしょうか。

資料について、一部訂正をお願いいたします。令和2年度業務実績評価書のP3 5行目に、「令和2年度から令和6年度まで」と記述がありますが、正しくは令和7年度までとなります。それでは、ここからの議事については、伊藤委員長をお願いいたします。

[伊藤委員長]さっそく議事に入っていきたいと思います。今日は資料1に基づきまして、令和2年度の業務実績評価について審議をいたします。業務実績に関する事業年度評価は、当該事業年度における中期計画の実施状況の調査・分析を行い、その結果を考慮して業務実績全体について、総合的な評定を行うこととしており、当委員会が主体的に作成・決定するものです。このため、法人から提出された業務実績報告書に基づき、ヒアリングという形で調査分析を行ない、その後、各委員には評価意見を出していただきました。

それをもとに事務局に提出していただきました資料1は、委員の皆様のご意見を事務局がまとめた案でありますので、このままを元に修正、その他の意見の交換をおこない、最終的な評価書へとまとめていきたいと思います。進め方といたしましては、項目別評価を審議した上で全体評価の審議を行っていきたいと思います。

それでは資料1の5ページをまずお開きください。項目別評価になります。

### (1)教育に関する目標達成するための措置

それほど長いものではありませんので、字句の細かい訂正とかもあるかもしれませんが、読み上げる形で皆さんにまずここで紹介させていただきたいと思います。

まず一つ目の大項目ですが、委員の皆様、いかがでしょうか？

(意義なし)

では大項目の一つ目につきましては、今述べさせて頂いた内容とさせていただきます。

### (2)研究に関する目標を達成するための措置

委員の皆様、ご意見いかがでしょうか？

(意義なし)

項目の2つ目につきましても、今紹介したとおりという形にさせていただきたいと思います。

### (3)地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置

委員の皆様、いかがでしょうか？

[保健大]質問させていただいて宜しいでしょうか？最後の地域定着枠については「今後の期待も含め、今後の取り組みを通じ注視したい」ということは、確認としては、この「今後の課題とする」というのが、どういう意味なのか？あの日本語では様々な文脈で課題ということが使われているので。英語にするとプロブレムという意味も課題ですし、あのチャレンジということも含みとしてあるのかなと思っています。ネガティブに捉えると、積み残された問題を将来解決しなさいという文脈にもとれますし、今後頑張ってチャレンジしてくださいという意味にもとれるので、まずどちらかあるということをお教えいただければ幸いです。

[委員長]まあ、確かにどちらかと言えば、内容としては期待の方が大きいんだろうと思いますが、課題としてしまうと、僕も受けるイメージとしてはどちらかと言えばプロブレムですね。そういうイメージに捉えられがちなので、ここは項目名をほかの大項目に合わせて、その他の意見という形でどうでしょうか？委員の皆様、いかがですか？内容はこのままですが、この今後の課題とする事項というところを削除して、その他の意見という形にしたいというご提案ですが、皆様いかがでしょうか？課題って言うと、何か問題を抱えているように受け取られる面もあるので、その他の意見とさせていただきますが、我々としてはどちらかといえば、今後の期待が、大きいという意味を込めて書かせていただいております。(意義なし)

第3項目につきましては、今の訂正ということで先に進めたいと思います。

### (4)業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

委員の皆様いかがでしょうか？

[倉成委員]今の特に評価する事項の2番目の内部監査については、今年度の計画にとって実施だけでも、確実な実施を期待するの項目については特に評価するグッドポイントかどうか。ほかの項目とのバランスを考えると、特に評価する事項で、他ではグッドポイントであげていますので、並列にするのはちょっと適当ではないかな。で今、先ほど割れた今後の課題とする事項がその他の事項だと思ったんですけども、今後の課題とする事項っていうのが先ほど削除されたので、バランスをとれば、その他の事項というところが良いかと思います。いかがでしょうか？

[委員長]確かに文章だけから見ると評価されてしまう事項ではないですね。

[大矢委員]私も。むしろここが今後の課題とする事項なんじゃないかなと思って拝見してたので。

[委員長]ちょっと意見交換をしたいと思います。現在、この特に評価する事項の2つ目のポチですね。これにつきましては、まず評価する事項にはそぐわないのではないかという事ですが、委員のみなさんのご意見はいかがでしょうか？その他の意見とするか、今後の課題とする事項にするかということになります、田中さんから。

[田中委員]課題というほうがしっくりくるような気がします。

[宍戸委員]課題でいいと思います。関連してなんですが、その内部監査を実施しなかった理由が担当職員に業務が集中し、云々と書かれてあるんですけど、これには違和感があります。やっぱりこの担当職員云々ではなくて、組織として出来てなかったということだと思いますので、その他の事務とは違って、やはり内部監査というのは、そもそも業務として漏れる事はあまり考えにくいんですけど、内部統制に重要なファクターでもあるので、やっぱりそこは組織としてきちりできなかったということですから、担当職員云々っていうのは違和感ある。

[委員長]ひとりに責任を押し付けているようにみえてしまう。

[宍戸委員]そこまでは言いませんけど、これは見られるんでしょから、やっぱ理由としてはあまり妥当じゃないような気がします。

[大矢委員]そうですね。やっぱり組織で運営するものなので、組織として業務までスケジュール管理が充分でなかったということだと思うんですね。おっしゃるようにちょっとこの書きぶりは注意されたほうがいいのではないかなと、あとでご覧になると考えるとちょっと。

[委員長]オープンになるんですからね。

[大矢委員]はい、あまり良くないだろうなと。

[委員長]1つの案とまず下の方からいきましょう。じゃあ現在、特に評価する事項の2つ目のポチのところは、今後の課題とする事項ということで、ある意味180°変わるような表現になるかなと思います、確かに評価する事項ではないのは明らかだと思う。ということで委員会としては今後の課題とする事項というふうにくくらせていただきたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか？

では2点目ですが、評価の理由の2段落目の担当職員に業務が集中しているのは、評価書としては少しまあ踏み込み過ぎと言ったらいいんでしょうかね？この担当職員に業務が集中しというところを削除するというのが、1つの案としてはあります。スケジュール管理が充分にできていなかったのは明らかですので、まあそここのところにスケジュール管理の前に何か現在担当職員の業務が集中しに変わるようなものも何かつけるかどうかということだろうと思いますが。宍戸さん案がありますか？

[宍戸委員]おそらくですけど、まあ、スケジュール管理も事実ですし、多分担当職員の業務集中も事実なんだろうと思うんですけど、淡々と事実だけで課題ができなくて課題が残ったぐらいでいいのかなと思ったんですけど。

[委員長]いっそのこと担当職員のところから十分にできなかったためについていうところまで削るということになりますね。あまりはっきりさせないということになるかということですね。そこまで理由を書くかというのは、みなさんの意見をお伺いしたいんですけど。

[大矢委員]取ってしまったでもいいと思うんですが、取ってしまった場合、「令和3年度は業務の平準化を行い」という改善は、こういう風に具体的に考えましたよって言うところだけ浮き出してしまうのでバランス取れないんですよ。だからそういう意味でスケジュール管理という言葉を残してもいいのかなと思ったんですが、これはもう個人のものでなくて、やっぱり組織としてのスケジュール管理だったんだろうなと。

[委員長]でもこの業務の平準化っていうのがスケジュール管理ではないイコールではないと思います。

[倉成委員]法人全体としてスケジュール管理が充分出来なかったために。法人としての。

[田中委員]結局は組織としては担当である管理者の責任ですよ。個人っていうか、その部署の問題ではないので、私も面倒くさく考えないで、管理が充分でなかったため、管理に不足がありとかそういう表現でいいんじゃないのか、要は管理がちょっと足りなかったというか、目が届かなかったっていう。管理が充分できなかったことができなかったという表現もあるんですけども、管理が不足だったとか。

[委員長]令和元年もそうなんですが、2年間あまり監査に関しては良くなかったけれども、今回はちゃんとやっていますよっていうので、3にしているっていう書きぶりなんですよ。

[熊谷委員]丁寧にかきすぎると、つじつまが、表現が合わなくなるっていう点。では本当にあの組織管理が不十分であったためとか？

[倉成委員]担当は1人なんですか？

[保健大]1人です。その上に室長がいて、その上に自分がいます。業務の担当は一人です。実際の内部監査を担当する職員が、監査委員を2名など指名して行います。

[委員長]業務の平準化っていうところとはうまく齟齬がないように、齟齬というか。宍戸さんそ

ういう組織にお勤めの一人として。

[宍戸委員]これは令和2年度の評価なのですが、令和3年度は業務の平準化を行っていったところを勘案して評価していいのかなって。

[委員長]それはそうなんです。だからこのところは微妙なんです。実際は。

[宍戸委員]例えば1番最初の項目なんかはやはり充分実施してないというのがありながら頑張っているところもあったんで、総合的に勘案しましたみたいなのがあるので。標準化とかもとってもいいのかなってちょっと。

[委員長]じゃこういう感じにしましょうか。口頭で申し訳ないんですが、「年度計画を充分には実施していないとされた内部監査についてはスケジュール管理が充分できなかったため、年度計画を充分には実施していないと、内部監査については業務の重要性を勘案し、3中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にあるとした」ぐらいな感じですかね。

[倉成委員]すると3じゃ済まなくなります。

[委員長]まあ、そうなんですけどね。

[宍戸委員]大枠として11個の項目中、10項目は問題なかったと言うので3ではダメなんですかね。1個はだいぶだったんですけど10/11はよかったんだよ。

[委員長]それはそれでもいいです。それはそれでも全然構わないという。もともと54321の付け方がそうなので、元々その教育のところも3っていうか、SとかAじゃないものがあるんですよBのものがあるんだけど、それこそ総合的に考えたらルール通りでいけば3でもおかしくないんですね。まあ総合的に勘案して読んでも評価できるだろうっていうところなんです。なので、この(4)についても、まあ11個のうちの10項目が年度計画を充分にしていると、内部監査の実施については一部未実施になったと認められたということで、総合的に勘案し、3っていう書き方でもいいと思います。で先ほどのように、あの3の今後の課題ということで、内部監査については強く書かせていただいているので、そういう意味ではあのほかのほかの大項目の3よりは、あのこちらとしては問題項目なんですよということを出したということになるかなと思いますけれども。

[大矢委員]なおがきにして事情はあまり書かず、なおがきにしてその年度計画を充分には実施していないとされた内部監査については令和3年度は業務の見直しを行ない計画策定済みであること、みたいな書きぶりにはどうですか？評価は上の段階で終わってて、なおここは問題になってるに言われたけども、その令和3年度ではもう改善計画を策定中だよっていうのはあくまでもなおがき。

[委員長]書くのやめましょう令和3年度のことなので。他のところもそんなこと言ってしまえばいくらでもあるかもしれないので。まず1つ。まずはいままでのご意見を受けて評価の理由のところですが、ご提案ですね。また意見をこれから伺いたいと思いますが、年度計画記載の11項目中、10項目が年度計画を充分に実施していると認められた。が内部監査の実施については一部未実施となったことから、年度計画を充分には実施していないと認められた。以上を総合的に勘案し、3中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にあるとした。っていうぐらいにしたいと。で、その他に先ほど申し上げましたように、内部監査については、今年度の計画に沿って一部はすでに実施だとのことである。これは令和3年度のことですよ。確実な実施を強く期待するというのを、今後の課題とする事項に書かせていただいたということで、同じ年度計画を充分に実施していないところの中でも委員会としては、ここは非常に注視しているところですよという事を、その他の意見ではなく、今後の課題とする事項という形で書かせていただくというやり方でどうでしょうか？

1つは、どういう書き方にしても、この業務。令和3年度は業務の平準化を行っていくのを書くか書かないかっていうところが非常に、その令和3年度を持ち出すこの評価の理由の中に令和3年度を持ち出すかどうかというところが1つありますよね。今後の課題とする事項ということで、今後っていうところに令和3年度以降のことは書かせていただいたのでそのところで、上の方がなくてもいいかなっていう気もする。

[倉成委員]去年もコロナで実施していなくて、理由がはっきりした方がすっきりするんじゃないかなっていうことで、個人名を出しているわけではないので。理由がわかったほうがすっきりしますね。

[大矢委員]法人に対する評価なので、個人個人はやめましょう。もしも目に入ったときに、自分のせいで評価下がったと思いがちで、いや、実は本当はその個人の問題ではないんですよということがあったとしても、当人がそう思うかもしれないということを考えると。

[委員長]だから今後の課題とする次項のところにかかせていただいたので、そこでうまく読んでいただくということですかね？少なくとも委員会としては実情も充分にわかっているし、ヒアリングの中でまあその辺は法人も評価書には具体的に書かれなかったとしても、今年度は随分改善されたようですから。でなければ、あの先ほどの今後の課題とする次項のところ、やはりスケジュール管理もきちんと行った上でとか、もう少し書くということですかね。

例えば、今年度の計画に沿って一部はすでに実施したとのことであるが、スケジュール管理等を充分に行いとか、スケジュール管理をしっかりと上で確実な実施を強く期待するとかそんなような言葉を入れるかですね。どうでしょうか？

何度目のご提案になったか定かではありませんが、もう一度4のところについてですが、「評価の理由が年度計画の記載11項目中、10項目が年度計画を充分に実施していると認められたが、内部監査の実施については一部未実施となったことから年度計画を充分には実施していないと認められた、以上を総合的に勘案し、3中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にあるとし

た」という評価内容にしたいと思います、現在特に評価する事項の2つ目のポチのところを今後の課題とする事項というふうに1つはずしてですね。内部監査については、今年度の計画に沿って一部はすでに実施したとのことであるが、スケジュール管理をしっかりと上で確実な実施を強く期待する。というような書き方でどうでしょうか？

スケジュール管理をし、確実な実施を強く期待する。でどうでしょうか？宍戸さんこういう書き方でどうでしょうか？

[宍戸委員]いいと思います。本来であれば、やるやらないの問題ではなくて、監査というのは中身が問われるんですよね。やった上でどうPDCAまわしてるの？といった。そのため、まず確実な実施という「確実」の中には、その中身も含めて期待するという風に捉えて、私はいいのかなと思いました。保健大学いかがですか？

[保健大学]組織の管理の問題と捉えております。このしっかりやって行きたいと思います。ありがとうございます。

[委員長]大変申し訳ありません。何度も口頭で言い直しになってしまいました。また言うとまたちょっと違うんですね。事務局は大丈夫ですか？先ほどのようにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

#### (5)財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

その他の意見。職員宿舎の空き家って変かな？どうですかね。実態としては空き部屋ですかね。空き家でいいんですか？

[保健大]職員宿舎の有効活用でよろしいんじゃないかと思ったんですけど、空き家を取るということですか。

[委員長]内容としては、その空いてる所をどうするかということが具体的に上がるんですよ。

[保健大]空き家の有効活用になってしまうと、空いてる部屋を違う目的に使うみたいなイメージをされてしまうので。そうではなく職員宿舎を有効活用するので、ちょっと空き家を活用しなさいって言われてる。

[委員長]ということで、じゃあ3文字は削除いただいて、もう一度。その他の意見、職員宿舎の有効活用については、早期に具体的な改善策を検討し、実施することが望まれる。その他の委託業務についても前例踏襲にとらわれずに、契約方法の工夫等に、より大学運営経費の節減に努めていただきたいとしました。委員の皆さん、いかがでしょうか？

(意義なし)

(6)教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価、並びに当該状況にかかる情報の提供に関する目標を達成するための措置

(意義なし)

(7)その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置

(意義なし)

[委員長]では、大項目について評価。35 ページから 8 ページにかけてですが、改めて振り返っていかがでしょうか？このところ気になる。また改めて気になるというところがございますでしょうか？では 3 ページにお戻りください。

全体評価

4 ページに業務の実施状況としては、業務の実施状況は全体として年度計画に定めた事項を着実に実施されていると書かせていただきました。評価結果の概要については、先ほどの大項目の評価を表にまとめたものです。(3)組織業務運営等にかかる改善事項等は特に改善を要する事項はないにいたしました。総評、それから業務の実施状況を改善、事項等について委員の皆さんいかがでしょうか？(意義なし)

では、先ほど議論いただいたことを修正のうえ、この資料 1 を最終的な評価書としてまとめさせていただきますと思います。内容が変わらないような字句、漢字の間違いなどがあった場合には委員長にご一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか？ありがとうございます。

皆さまには評価書の読み込み、業務実績の読み込み、ヒアリングなど、今日の評価書について多くの時間を割いていただいでですね。今日やっと迎えられて委員長としても大変安心しております。おひとりおひとりが少し感想などを。大矢先生いかがですか？

[大矢委員]今起きている事象を考えると、とても例年の様にと言えない事態だったと思うんですが。例年のようにしっかりとあの教育、研究にも力を注がれてきているということはよく伝わってまいりまして、本当に頭の下がる思いで拝見しておりました。で先ほどの組織の問題ですというふうに私も申し上げたんですが、組織としてどんなに一生懸命この人にこういう仕事と割りふったとしても、それぞれいろんな方がおられるので、うまくいかないことがあるのも了承しているのですが、こういう評価だったので、個人というか、誰か特定の人が出てくるよりはというふうに申し上げたところですが、大変なご苦勞があったんだろうなと思って拝見しておりました。皆さんありがとうございました。

[田中委員]拝見してて思うんですけども、本当に私としては、例えば身内のものであるとか是非入学させたいなと思うようなとてもいい学びになってると思うんですね、こういう状況ですので、今いらっしゃる在学中の学生さんとかもこういう状況でいろいろ大変だと思うんですけどもぜひそのサポートしながらまた目標を目指していただければと思うと、本当にあの皆さんのご苦勞

がなんか本当にあの大変だなとわかるので、今後ますます頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。

[熊谷委員]私も外から見て、色んな書類を見て先生方ってすごいなあと本当に感心するところなんです。やはり地域につながる専門職を育成するんだと各学部が対応しているところは本当につながることで先生方も学生対応だけでなく教員自らが評価を受けることをなさっているということは本当にすごいなと思っております。青森県は大学が多いので、できればどういふところを特異的にやっているのかということ、本学の特異性を、もっとアピールしていければいいのかなと。キャリア開発についても、本当に各大学いろいろやっています。その中でもやはり本学がここを重点的にやってるんだということをアピールできれば貢献する専門職の育成にもなりました、学生に選ばれる大学になって行くと思いますので、総合的に、他県ももちろんなんですけど、まずは県内の大学が何をしているのかということ。また、共通化していけることは何なのかということなど、私も協会にいましたので、看護協会もうまく利用していただければと思います。使えるものはどんどんお互いに手を取り合っていかなければと思いますので、よろしくお願ひします。本当にご苦労様です。皆さんも先程からおっしゃってますけどもやっぱりコロナ感染拡大の中で、事業にしても実習にしてもキャリア支援にしても、通常時できなかったことをいろいろ工夫できちんと推進して、高い国家試験の合格率であるとか、高い就職率を実現しているというのはすごい大変なことで、すごく高く評価できることだと、私も思っています。大変すごいことだと思っています。あとは財務の面ですね。今回の水道光熱費に一般競争入札を導入して経費節減大幅にしたんですけども、そういった視点、県立大学、県の運営交付金で運営している大学として、公費で最大の効果をもって、教育と相容れない部分ももちろんあると思いますけれども、少なくとも管理経費に関しては、そういった視点を忘れないで大学を運営して頂きたい。そういったところを、私の体験から書かせていただきました。

[宋戸委員]わたくし初めて今回委員となりまして、本当に1から勉強させていただいたという思いです。普段は色んな企業様の融資審査をしているんですが、やはり大学の中を見たことがなくて、今回イチから見ると凄いなというのが正直な感想です。そのなかにあって、特に令和2年度はコロナという中で。先程教育に関する目標の中では、学生ファーストなんて言葉も書きましたけれども、本当に個人的には最大限の評価をさせていただいております。1つ申し上げるとすれば、このコロナを踏まえて、これから本大学は多分存在意義・存在価値が、もっと高まっていくんだろうと思います。そういう点では発信力の強化というか、こういうことやってるんだぞって言ったところを、既存の枠にとらわれなくて、アピールして、もっと発展して行ってほしいなあとと思います。どなたかおっしゃってましたけど、本当に私も身内がいれば本当に推薦したい大学だなというふうに感じました。ありがとうございました。

[委員長]委員の皆さんもありがとうございました。では最後に、保健大学の吉池副理事長からですね。新しい中期計画期間に入った初年度の評価と言うことで、こちらとしても少し意気込んでやったところがあるんですけども、評価の中身というよりは、できれば今後の意気込みなども

含めて、少しお話を受け賜われればと思います。いかがでしょうか。

[保健大学]まず、本日は理事長が急な欠席となりまして、大変申し訳ございませんでした。7月30日に理事長からもお話をさせて頂きましたが、評価については、本当に第一年目で意気込んでいろいろやろうと思ってた矢先に、いろいろなことが起こって、ある意味では紙をまとめてみて気付くことになったり、その中で委員の先生方からご指摘を受けてさらに気づいたところがありました。またその前のご指摘ご質問を含めて丁寧に頂いたことは本当に改めて感謝申し上げます。その上で今日いろいろと改善すべき点についてはご指摘いただいたと。温かいお言葉は本当に嬉しく涙出そうなどということがございます。これからさらにコロナが続くという、前はもうちょっと楽観してたのですが、こういう時期だからこそ、しっかりやらなければいけないということは、覚悟を決めて、これから進んでいかなければいけないというふうに思っています。いろいろなことがありましたが、新しい中期計画で掲げた目標であったり、それを実現するための組織、特にキャリア開発、人材育成に関わるセンターと研究と国際交流を合わせた形のセンターについては、今のところはかなり制約になって動きづらいところがあるのですが、これらの2つのセンターというのは、ある意味では大学機能をこれまでの前例にとらわれずに前向きに展開して行くための両輪だと思っておりますので、いろんな状況の中でやって行きたいと思っています。本当に色々な助言をいただき、感謝しております。頑張ります。ありがとうございます。

[委員長]それでは以上で令和3年度第2回青森県地方独立行政法人評価委員会を終了いたします。今回をもって今年度予定されていた委員会は終了とやります。皆様、どうもありがとうございます。では、事務局お願いいたします。

[事務局]ありがとうございます。今年度の委員会は、本日をもって終了となりますが、委員の皆様には、来年度以降も御協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。